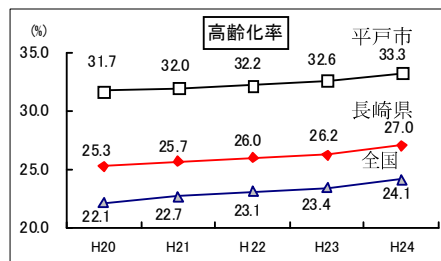


## 【 3 款 民生費 】

### 1 社会福祉費

本市の高齢化率は、県下の中でも高く、これと相まって少子化現象もさらに進行するなど、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。このため、社会全体で支える介護保険制度の円滑な運営とともに、高齢者が健康で暮らしやすいまちづくりを目指して、在宅福祉のサービスの充実を努めた。また、障害者対策については、地域の中で自立し、生活するための社会参加型の福祉サービスを実施した。



#### (1) 社会福祉対策

高齢社会における地域福祉の向上を目的として、民生委員児童委員及び社会福祉協議会との連携により、積極的に市民のニーズに応じた相談、各種サービス等を提供した。

#### (2) 障害者福祉対策

障害者の高齢化や核家族化など、様々な状況の変化により、行政に求められるニーズも多種・多様化している現状である。また、地域生活への移行や定着のため、住む場所や就労に関する相談も増加傾向にある。平成 18 年から、「措置」から利用者として事業所との「契約」による利用へと移行し、平成 24 年には障害者自立支援法に則った、新しいサービス種別の体系へ完全移行した。これに伴い、申請手続きにおいて利用者個々のサービス量や支援制度を窓口、電話、訪問で相談対応し、障害者の社会参加を促進し、安心して生活できるように支援した。また、障害者が病院や入所施設でなく地域で自立できるよう支援を行った。

#### (3) 高齢者福祉対策

ひとり暮らしの高齢者や介護保険の対象外となった在宅の高齢者に対し、関係機関と連携をとりながら、介護予防・生活支援事業等に積極的に取り組み、安心、安全な生活が送れるよう福祉施策を実施した。

また、高齢者が老後の生活を豊かなものにするための環境づくりとして、老人クラブの活動を支援することにより、教養の向上、地域社会との交流など、高齢者の生きがいと健康づくりに努めた。

高齢者生活福祉センターにおいては、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立的生活の助長と社会的孤立感の解消を図った。また、居住部門においては、高齢のため独立して生活することに不安のある者に対して居住施設を提供することにより、安心して生活できる環境づくりに努めた。

#### (4) 後期高齢者医療対策

後期高齢者医療制度に基づく療養給付費負担金のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基金安定負担金、長崎県後期高齢者医療広域連合事務費負担金等の繰り出しを行い、制度の円滑な運営に努めた。

#### (5) 国民健康保険

国民健康保険法に基づく事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基金安定負担金、財政安定化支援事業に基づく財政支援のための繰り出し等を行い、国保財政の健全化及び税負担の平準化に努めた。

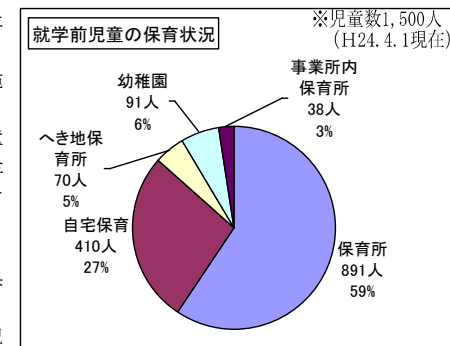
#### (6) 介護保険

介護保険事業を円滑に運営するため、介護保険財政基盤の安定化を推進し、介護保険法に基づく保険給付費、地域支援事業費の繰り出し等を行った。また、低所得者に対する利用負担の軽減・支援措置等を行い、公平、公正な介護サービスの提供を図った。

### 2 児童福祉費

#### (1) 児童福祉対策

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「平戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に沿って、利用者の多様な需要に対応した保育サービスを実施する保育所に対し助成を行った。放課後対策として、保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童に対して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブへの活動経費の助成を行った。また、家庭相談員による各種相談・指導・助言により、家庭における児童養育の向上に努めた。さらに、要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見及び適切な保護並びに関係機関との連携、協力を図った。子育て家庭に対して、育児不安や育児ストレスによる虐待防止のための「親子講座」の開催や子育て支援拠点施設を整備し、子育て親子の支援を行った。離島地域における妊婦に対しては、定期健診時や出産時における交通費の助成を行い、安全安心な出産のための支援を行った。また、保育所の改修や保育環境を整えるための施設整備、児童館の耐震改修事業、託児ボランティアの派遣、乳児の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため育児用品の無料貸出しを行い、子育て家庭が安全安心で子育てしやすい環境づくりを行った。

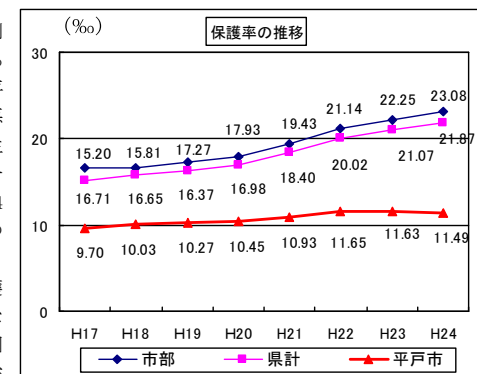


#### (2) 母子福祉対策

ひとり親家庭等の生活の安定と、自立の促進を目的とした児童扶養手当の認定及び支給を行った。この他、福祉資金の貸付相談、母子家庭自立支援給付事業による必要な指導助言及び家庭支援員を派遣し、育児支援や家事支援を行うなど、母子家庭等の福祉の増進に努めた。

### 3 生活保護費

本市の保護率（人口 1,000 人に対する保護人員割合）は、新市発足時（平成 17 年度）は 9.70%であった。以降、ほぼ横ばい傾向で推移していたが、平成 20 年 10 月以降の国内経済の低迷と雇用環境の悪化に伴い、失業者は急激に増加し、本市における生活保護受給者もこの社会情勢を背景に増加傾向が一層高まり、平成 22 年度において、被保護者数は 324 世帯 408 人、保護率 11.65%と新市発足後、最高の受給者数となった。平成 23 年度以降は、減少傾向となっているが、平成 25 年 3 月 31 日現在では被保護者数は 309 世帯 397 人と前年より世帯数は変わらないものの、世帯員数は 12 人の増となっている。全国及び県内の保護世帯数は増加傾向にあり、本市においても相談件数は増加していることから今後は微増すると推測される。



制度の実施については、保護相談時における失業保険や老齢年金及び障害年金受給、住宅手当、生活福祉資金の利用など他法他施策の活用による最低生活維持の可能性を検討し助言を行った。また、保護者に対しては、公的扶助を受ける権利を有するとともに、扶助費の計画的な利用や早期就労による自立、収入届出等の報告義務について被保護者が進んでこれを果たすよう指導を行った。

#### 4 災害救助費

現に居住の用に供している建物が、災害救助法の適用基準に達しない災害により被害を受けた市民に対し、小災害見舞金の支給を行った。また、火災により死亡した者の遺族に対し、弔意の意を表し自立更生を助長するため弔慰金を支給した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費				
社会福祉協議会支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	多様化する福祉ニーズに応えるため、社会福祉の向上を目的とする民間組織団体である社会福祉協議会に対して、地域福祉の増進、広報活動、共同募金運動など福祉ニーズに応えるべく活動する非営利部門に対して助成した。  社会福祉協議会運営補助金 56,305 千円 社会福祉センター運営補助金 3,738 千円	60,043				
福祉健康まつり開催事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会あるいは家庭において、温かく、ふれあいがあり、安心して生活できる環境づくりを推進するとともに、一般市民の理解と関心の高揚を図るため開催する福祉健康まつりに対して助成した。 実施団体 平戸市福祉健康まつり実行委員会 参加協力団体 63 団体	1,000				
民生委員児童委員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	社会奉仕の精神を持って自主的に地域住民の福祉の増進に努めるため、社会福祉政策への協力など、広範囲にわたる活動を職務とする民生委員児童委員で構成される民生委員児童委員協議会連合会に対し、活動費等の助成を行った。  民生委員児童委員協議会連合会補助金 12,474 千円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>開催数・委員数</td> <td>実施団体等</td> </tr> <tr> <td>125 名</td> <td>民生委員児童委員協議会連合会</td> </tr> </table>	開催数・委員数	実施団体等	125 名	民生委員児童委員協議会連合会	12,474
開催数・委員数	実施団体等					
125 名	民生委員児童委員協議会連合会					
戦没者追悼事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	戊辰戦争から太平洋戦争までの長崎県籍の戦没者 60,723 柱を祀る長崎県忠霊塔の屋根改修の負担を始め、先の大戦で亡くなられた方々の御霊を奉慰顕彰するとともに、未来を担う世代に継承するため、各地区遺族会などの関係団体の参加を得て設立した「平戸市戦没者慰霊奉賛会」に対し助成を行った。また、各地にある慰霊碑等維持管理に対しても助成を行った。  ①県忠霊塔屋根改修工事負担金 264 千円 (長崎県戦没者慰霊奉賛会) ②平戸市戦没者追悼式補助金 668 千円 (平戸市戦没者慰霊奉賛会 参列者:約 380 人) ③戦没者慰霊碑等維持管理補助金 440 千円 (平戸地区遺族会他 10 団体) ④長崎県追悼式参加費経費等 200 千円	1,572				

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			60,043	社会福祉協議会の運営基盤の強化、施設の維持補修等が行われ、多様化する福祉ニーズに応えるなど、地域福祉の増進が図られた。
			1,000	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会に活動情報等を発信し、参加者の生きがいがづくりや市民の福祉健康に対する理解と関心の高揚を図ることができた。  来場者数 H24：約 4,700 人 H23：約 5,300 人 H22：約 4,700 人
			12,474	民生委員児童委員活動を支援することにより、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに寄与した。
200			1,372	大戦で亡くなられた方々の御霊を追悼するとともに、平和学習の一環として参加した学生とともに改めて、平和の大切さを確認することができた。 また、高齢化に伴い、弱体化が懸念される遺族会活動を支援するため追悼式の開催経費や慰霊碑維持管理費の助成を行い、遺族会の活動が行い易くなった。

事業名	事業内容	事業費
地域生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】 【事項別明細書 144 頁】	<p>障害者が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう特性に応じた支援を行った。</p> <p>○移動支援事業 2,269 千円 屋外での移動が困難な在宅の障害者に対し、ヘルパーによる移動支援を行った。 8 施設 利用人数 18 人 (延べ 97 人)</p> <p>○身体障害者訪問入浴サービス事業 596 千円 在宅の肢体不自由身体障害者 1、2 級で自ら入浴が困難な者に対し、訪問入浴サービスを行った。 1 施設 利用人数 2 人 (延べ利用回数 53 回)</p> <p>○日中一時支援事業 3,008 千円 障害者(児)の介護を行う者が疾病その他の理由により、当該障害者が在宅において介護を受けることが一時的に困難となった場合に施設に短期入所させ、日常訓練等を行った。 3 施設 利用人数 9 人 (延べ 606 人)</p> <p>○生活サポート事業 32 千円 障害程度区分非該当者に対し、ホームヘルパーを派遣し日常生活の支援を行った。 1 施設 利用人数 1 人 (延べ利用回数 24 回)</p> <p>○社会参加促進事業 2,990 千円 障害者が地域生活を継続できるよう障害者やボランティア等の交流事業を行い、生きがいを持って過ごせるよう支援を行った。 市内 6 か所 16 回 参加人数 46 人 (延べ 166 人)</p> <p>○地域活動支援センター事業 5,529 千円 障害者の社会復帰を目的とした平戸市障害者地域活動支援センター「ホープドリーム」、「はーとオアシス(松浦市)」へ助成を行った。</p> <p>○日常生活用具給付事業 6,840 千円 日常生活を容易にするため、在宅の重度障害者に対し、その利用に適した日常生活用具の給付を行った。 排泄管理支援用具等 642 件</p> <p>○手話奉仕員派遣事業 6 千円 聴覚、言語機能などの障害のため、意思疎通を図ることに障害がある方に、円滑にコミュニケーションが図れるよう手話奉仕員を派遣した。 助成件数 1 件</p> <p>○身体障害者補助犬飼育管理助成事業 246 千円 補助犬を利用する障害者に対し、福祉の向上を図り、社会参加を支援するために、飼育のために必要な経費の助成を行った。 盲導犬利用者 3 人</p>	21,516

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
11,289		12	10,215	<p>障害者の行動範囲の拡大などによる日常の生活向上や地域での自立が支援され、社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
心身障害者福祉タクシー助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 44 頁】	社会活動の範囲を広め福祉向上を図るため、在宅の心身障害者で、車椅子常用者、知的障害者、視覚障害者に対し、市内のタクシー業者を利用する場合、基本料金の9割助成を行った。  車椅子常用者 29 人 (述べ 471 件) 169 千円 知的障害者 5 人 (述べ 86 件) 39 千円 視覚障害者 12 人 (述べ 247 件) 106 千円 事務費 25 千円	339
身体障害者交通船旅客運賃助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	第2種身体障害者手帳所持者に対し、社会参加とその軽減を図るため交通船旅客運賃の4割助成を行った。  大島～平戸 29 人 (述べ 1,388 件) 356 千円 度島～平戸 4 人 (述べ 283 件) 70 千円 事務費 186 千円	611
福祉医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 158 頁】	福祉の増進及び負担軽減のため、心身障害者、乳幼児、母子家庭等における母と子及び寡婦等に対して、医療費の助成を行った。  ○扶助費 153,892 千円 乳幼児 <29,842 千円> 母子家庭等 <11,236 千円> 障害1・2級 <39,609 千円> 療育A1・2 <7,719 千円> 老人 <36,871 千円> 障害3級 <9,199 千円> 療育B1 <2,537 千円> 単独(障害4級・療育B2・老人3・4級B1) <16,879 千円> ○事務費 4,608 千円	158,500
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 146 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。  在宅重度障害者と学生ボランティアとのふれあい研修事業 58 千円  実施団体：田平町身体障害者福祉協会	58

財源内訳				事業の成果																																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
			339	障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。																																								
			611	障害者の社会参加が促進された。																																								
70,149		5	88,346	心身機能の障害で日常生活に支障がある者、乳幼児、母子家庭等の経済的負担の軽減ができた。  ○支給件数の推移 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>13,653</td> <td>23,688</td> <td>22,708</td> </tr> <tr> <td>母子家庭等</td> <td>3,441</td> <td>4,261</td> <td>4,032</td> </tr> <tr> <td>障害1・2</td> <td>6,459</td> <td>6,701</td> <td>6,806</td> </tr> <tr> <td>療育A1・2</td> <td>2,116</td> <td>2,068</td> <td>1,833</td> </tr> <tr> <td>老人</td> <td>6,844</td> <td>6,706</td> <td>6,250</td> </tr> <tr> <td>障害3</td> <td>1,893</td> <td>2,248</td> <td>2,344</td> </tr> <tr> <td>療育B1</td> <td>924</td> <td>875</td> <td>913</td> </tr> <tr> <td>単独</td> <td>5,621</td> <td>5,540</td> <td>6,131</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40,951</td> <td>52,087</td> <td>51,017</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	24年度	乳幼児	13,653	23,688	22,708	母子家庭等	3,441	4,261	4,032	障害1・2	6,459	6,701	6,806	療育A1・2	2,116	2,068	1,833	老人	6,844	6,706	6,250	障害3	1,893	2,248	2,344	療育B1	924	875	913	単独	5,621	5,540	6,131	合計	40,951	52,087	51,017
	22年度	23年度	24年度																																									
乳幼児	13,653	23,688	22,708																																									
母子家庭等	3,441	4,261	4,032																																									
障害1・2	6,459	6,701	6,806																																									
療育A1・2	2,116	2,068	1,833																																									
老人	6,844	6,706	6,250																																									
障害3	1,893	2,248	2,344																																									
療育B1	924	875	913																																									
単独	5,621	5,540	6,131																																									
合計	40,951	52,087	51,017																																									
		58		日頃外出する機会が少ない障害者が、福祉施設等の視察研修や交流を通じて、仲間や生きがいがいづくりなどの社会参加を促進することができた。																																								

事業名	事業内容	事業費
障害者自立支援給付費等事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、特性に応じた障害福祉サービスを行った。</p> <p>○補装具給付事業 8,911千円 身体機能を補うために、車いすや補聴器等の補装具の交付、修理の費用を給付した。 交付 80件 修理 54件</p> <p>○介護給付サービス事業 555,250千円 障害に起因する、日常生活上継続的に必要な介護支援で、在宅の障害者に対して、家事や身体的支援のため、ホームヘルパーの派遣や介護者の事情等により一時的に施設で預かる短期入所事業、通所による創作的活動等を行う生活介護事業の給付、また、自立を図るため、生活訓練等を必要とする者や家庭において必要な介護を受けられない障害者に対し、施設入所や通所サービス等の給付を行った。</p> <p>居宅介護事業 9施設 71人(延べ 759人) 44,765千円 短期入所事業 3施設 7人(延べ 60人) 4,234千円 生活介護事業 42施設 154人(延べ 1,705人) 244,686千円 療養介護事業 5施設 3人(延べ 143人) 48,062千円 入所支援施設 27施設 127人(延べ 1,358人) 138,864千円 ケアホーム 25施設 55人(延べ 615人) 74,639千円</p> <p>○訓練等給付サービス事業 299,794千円 自立を図るため、身体機能等の向上のための自立訓練や、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練給付を行った。グループホームでは、地域の中で生活を望むものに対し、共同生活を営みながら生活支援の給付を行った。</p> <p>自立訓練 12施設 35人(延べ 344人) 37,205千円 就労継続支援 33施設 139人(延べ 1,629人) 208,042千円 就労移行支援 7施設 14人(延べ 138人) 24,334千円 グループホーム 18施設 37人(延べ 392人) 30,213千円</p> <p>○サービス利用計画作成事業 430千円 障害者福祉サービスを効果的に利用するため、個別の利用計画作成の支援を行った。 延べ29人</p>	864,385
障害児支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害児の療育の場を提供し、障害児とその保護者に対し指導や育成を図った。</p> <p>児童発達支援 1施設 16人(延べ 455人) 3,476千円 放課後等デイサービス 4施設 25人(延べ 727人) 5,582千円</p>	9,058

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
645,811			218,574	障害者の身体機能の回復や生活能力の向上等が図られ、障害者の自立や集団生活への適応、就労に向けた支援等に寄与することができた。また、介護者の身体的、精神的な援助等も図られた。
6,167			2,891	幼年期より、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応、生活能力向上のための訓練等を通じて障害児の自立促進が図られた。

事業名	事業内容	事業費												
更生医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>身体の機能障害を軽減するために行う医療費について助成を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>人工透析</td> <td>179 人 (延べ 1,951 件)</td> <td>43,419 千円</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>9 人 (延べ 50 件)</td> <td>6,283 千円</td> </tr> <tr> <td>身体障害</td> <td>3 人 (延べ 11 件)</td> <td>325 千円</td> </tr> <tr> <td>免疫障害</td> <td>2 人 (延べ 18 件)</td> <td>2,049 千円</td> </tr> </table>	人工透析	179 人 (延べ 1,951 件)	43,419 千円	心臓	9 人 (延べ 50 件)	6,283 千円	身体障害	3 人 (延べ 11 件)	325 千円	免疫障害	2 人 (延べ 18 件)	2,049 千円	52,076
人工透析	179 人 (延べ 1,951 件)	43,419 千円												
心臓	9 人 (延べ 50 件)	6,283 千円												
身体障害	3 人 (延べ 11 件)	325 千円												
免疫障害	2 人 (延べ 18 件)	2,049 千円												
特別障害者手当等 給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>重度の障害による特別な負担の軽減を図るため、在宅の重度身体障害者(児)に対し、手当の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>特別障害者手当</td> <td>71 人 (延べ 850 人)</td> <td>22,333 千円</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当</td> <td>3 人 (延べ 33 人)</td> <td>472 千円</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当</td> <td>15 人 (延べ 170 人)</td> <td>2,429 千円</td> </tr> </table>	特別障害者手当	71 人 (延べ 850 人)	22,333 千円	経過的福祉手当	3 人 (延べ 33 人)	472 千円	障害児福祉手当	15 人 (延べ 170 人)	2,429 千円	25,234			
特別障害者手当	71 人 (延べ 850 人)	22,333 千円												
経過的福祉手当	3 人 (延べ 33 人)	472 千円												
障害児福祉手当	15 人 (延べ 170 人)	2,429 千円												
自立支援協議会運 営事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>地域の障害者自立支援に携わる関係者が、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、それを踏まえて地域のサービス基盤の整備に努める。</p> <p>委員会開催 (1 回) 委員 12 名</p>	51												
療育支援センター 管理運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害者自立支援法に規定する児童デイサービスを行う療育支援センターの管理運営について、指定管理による適正管理に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名</td> <td colspan="2">平戸市療育支援センター「あったかさん 21」</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td colspan="2">社会福祉法人親愛会</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td colspan="2">6,500 千円</td> </tr> </table>	施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」		指定管理者	社会福祉法人親愛会		指定管理料	6,500 千円		6,500			
施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」													
指定管理者	社会福祉法人親愛会													
指定管理料	6,500 千円													
高齢者見守りネット ワーク事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	<p>地域全体で高齢者に対する見守りや声かけ等の活動を行い、安否を日常的に確認し、異常者を発見したときに迅速に対応できる体制の確保を行った。</p> <p>協力機関事業所数 14 事業所 サポーター登録数 30 名</p>	515												
敬老行事開催支援 事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】 【事項別明細書 150 頁】	<p>老人の日、老人週間の取組みの一環として、各地区において開催される敬老会に高齢者の人数に応じて交付金の支給を行った。</p> <p>対象者 75 歳以上 5,562 人</p>	5,531												
敬老祝金給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	<p>長寿を祝福し、敬老の意を表するため、平戸市内に居住する高齢者に対し、祝金の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>敬老祝金 (満 77 歳)</td> <td>517 人</td> </tr> <tr> <td>(満 88 歳)</td> <td>224 人</td> </tr> <tr> <td>長寿祝金 (100 歳)</td> <td>12 人</td> </tr> </table>	敬老祝金 (満 77 歳)	517 人	(満 88 歳)	224 人	長寿祝金 (100 歳)	12 人	7,132						
敬老祝金 (満 77 歳)	517 人													
(満 88 歳)	224 人													
長寿祝金 (100 歳)	12 人													

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
39,057			13,019	機能障害を軽減するとともに、障害者の医療費負担軽減がなされた。
18,905			6,329	重度障害による経済的負担の軽減がなされた。
			51	地域の障害者自立支援に携わる関係者が、地域のサービス基盤の整備を着実に進め、加えてサービスの質の向上を図るための体制やネットワークが強化された。
			6,500	民間事業者の能力を活用し、利用者のニーズにあったサービスが提供され療育を必要とする利用者への支援が強化された。
515				高齢者見守りサポーター及び事業所の協力により、独居等の高齢者の安否確認、地域コミュニティの安心安全を確保することができた。
			5,531	身近な地域の人達による敬老会の開催を支援することにより、敬老精神の高揚が図られ、また、高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。
			7,132	高齢者の福祉の向上と敬老思想の高揚が図られた。

事業名	事業内容	事業費
老人クラブ活動等 支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	地域における高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、活動を推進するための運営費の一部を助成した。  単位老人クラブ (64 クラブ) 3,672 千円 平戸市老人クラブ連合会 2,703 千円 〃 世代間交流事業 240 千円	6,615
高齢者生きがいづくりサポート事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 高齢者の生きがい活動として、市民ボランティアによる「いきいきサロン」新規立ち上げのため、関係団体への協力依頼、地域への説明会の開催、コーディネート業務を行った。 委託先 社会福祉協議会 「いきいきサロン」 H23 23 団体 H24 31 団体	3,969
ワンコインまごころ事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	在宅高齢者等の既存の公的サービスで対応できない「簡易な困りごと」を移動時間を含め、1 時間以内の業務を 500 円の利用料で対応した。  委託先 シルバー人材センター 対応件数 56 件	264
介護予防具設置事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	高齢者のふれあいの場を提供するとともに健康を維持、介護予防のため介護予防遊具を公園に設置した。  設置場所 館浦中児童遊園 (背伸ばしベンチ・ぶらさがり健康棒・足つぼ (健康歩道))	1,961
緊急通報装置貸与事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	緊急時の適切な対応を図るため、ひとり暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。  貸与台数 392 台 (平成 25 年 3 月末現在) (内訳) 平戸 217 台 生月 43 台 田平 88 台 大島 44 台	5,765
高齢者デイサービス事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図るため、在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、通所による生活指導、機能訓練及び給食サービス等を実施した。  登録者数 35 人 (H25.3 末) 延べ利用回数 1,420 回	2,637
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	介護の労をねぎらうため、寝たきり高齢者等を常時介護している者に対し、介護見舞金の支給を行った。  支給人数 53 人 (内訳) 平戸 36 人 生月 5 人 田平 6 人 大島 6 人	1,325

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,449			3,166	高齢者の教養の向上、健康の増進、地域社会における世代間の交流など、高齢者福祉の増進が図られた。
3,969				既存の「いきいきサロン」や老人クラブへの活動支援、問題点や困りごとの解消を図ることができた。また、各団体が抱える「いきいきサロン」の新規の立ち上げを支援することができた。 新規雇用失業者数 2 名
264				簡単な困りごとをワンコインで依頼し、問題を解決することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することができた。
1,961				介護予防効果に加え高齢者のふれあいの場を提供することができた。
			5,765	緊急時の迅速な対応や安否確認、また、普段の生活の心配事、悩み事の相談に応じるなど、日常生活を支援することにより、対象者が安心して在宅生活を送ることができた。
	2,500		137	自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることにより、介護予防ができた。
		1,325		介護者の労をねぎらうことができ、また、寝たきり高齢者等の福祉の増進が図られた。

事業名	事業内容	事業費																		
高齢者・障害者住宅 改造助成事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	高齢者(要介護者及び要支援者)または重度障害者の日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減するため、高齢者等の住宅改造に対し助成を行った。  高齢者 15 件            1,303 千円	1,303																		
度島いきいきプラ ザ(仮称)整備事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	昭和56年以前に建設された度島診療所及び医師住宅の建設に併せ、介護予防施設を併設するための地質調査、設計委託を行った。  地質調査業務委託    350 千円 設計業務委託        2,168 千円	2,519																		
老人保護措置事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	概ね65歳以上の老人で、環境上及び経済的理由のため、在宅生活が困難な者を対象に、養護老人ホームに入所させ養護した。  ○入所者の状況(平成25年3月末現在) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入所人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>光の園</td><td>50名</td></tr> <tr><td>しかまち</td><td>27名</td></tr> <tr><td>グリーンホーム</td><td>6名</td></tr> <tr><td>ソレイユ</td><td>2名</td></tr> <tr><td>恵の丘</td><td>2名</td></tr> <tr><td>光明荘</td><td>1名</td></tr> <tr><td>湧泉荘</td><td>1名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>89名</td></tr> </tbody> </table>	施設名	入所人員	光の園	50名	しかまち	27名	グリーンホーム	6名	ソレイユ	2名	恵の丘	2名	光明荘	1名	湧泉荘	1名	合計	89名	200,283
施設名	入所人員																			
光の園	50名																			
しかまち	27名																			
グリーンホーム	6名																			
ソレイユ	2名																			
恵の丘	2名																			
光明荘	1名																			
湧泉荘	1名																			
合計	89名																			
後期高齢者医療 療養給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 154 頁】	被保険者の医療給付費の市負担分を長崎県後期高齢者医療広域連合に対し負担した。	487,244																		
家庭児童相談員設 置事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	家庭相談員を設置し、家庭生活及び家庭における子どもの養育についての各種相談・指導・助言を行い、相談指導業務の充実強化を図った。  家庭相談員        1 名 相談件数        1,070 件 ケース検討会    26 回	1,684																		

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
651			652	高齢者及び障害者の日常生活を容易にし、介護者や家族の負担を軽減するとともに、安心して快適に自立した生活を送ることができる環境整備を行った。
	2,500		19	施設建設に伴い、医療供給体制の充実と福祉・介護サービスの提供を行うことで、医療・福祉・介護の連携が可能となる。
		27,758	172,525	入所者本人や家族の不安解消と、生活安定の支援を行った。
			487,244	後期高齢者医療被保険者の医療給付費の市負担分を負担し、後期高齢者医療制度の安定した運営に寄与した。
		7	1,677	家庭における人間関係の健全化及び子どもの養育の適正化等家庭児童福祉の向上を行った。



事業名	事業内容	事業費
放課後児童クラブ運営支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童の放課後対策のため、放課後児童クラブへの活動経費に対して施設整備費の助成を行った。また、放課後児童クラブに入所している母子家庭等の児童に対し、保育料の負担軽減を行った。  ○放課後児童クラブ事業補助金 3 か所 (平戸 2 生月 1) 11,342 千円  登録児童数 105 人 利用人数 延べ 20,247 人  ○放課後対策母子家庭等児童助成事業補助金 1,826 千円 対象児童数 38 人 利用人数 延べ 413 人	13,168
離島地域安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	産婦人科がない離島地域に在住する妊婦に対して、妊娠・出産にかかる交通費等の助成を行い、経済的な負担を軽減し、安全安心な出産の支援を図った。  受給者数 6 人	185
ノーパディーズパーフェクトプログラム事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	育児不安や育児ストレスによる虐待を防ぐことを目的に、子育て中の親を支援するためのプログラム事業(親育ち講座)を実施した。  3 か所 (平戸 2 田平 1) 参加者 31 人	68
子育て親社会参加促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	講演会などへ託児ボランティアの派遣等を行った。  ○子育て親社会参加促進事業 講演会 20 回 ボランティア数 延べ 137 人 児童数 延べ 220 人	284

財源内訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
9,585			3,583	保護者が昼間家庭にいない児童に授業終了後または休暇期に、適切な遊び場及び生活の場を与えることで、放課後における児童の健全育成、安全対策を図ることができた。 また、母子家庭等における保育料の負担軽減を行うことで、円滑な制度適用ができた。  ○登録児童数の推移 (各年度3月末現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数</td> <td>58人</td> <td>100人</td> <td>134人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>クラブ数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		21年度	22年度	23年度	24年度	児童数	58人	100人	134人	105人	クラブ数	1	2	3	3
	21年度	22年度	23年度	24年度															
児童数	58人	100人	134人	105人															
クラブ数	1	2	3	3															
92			93	妊娠・出産にかかわる費用の一部を助成することで、経済的な負担軽減を行い、母子ともに健全な出産に寄与した。															
			68	親の不安感を取り除き、子育てに自信をつけてもらうことができ、虐待等の防止につながった。															
		284		子育て家庭において、社会的な活動に参加しやすい環境づくりを行った。															

事業名	事業内容	事業費
子育て支援交付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	小学校低学年児童の放課後の居場所づくりや、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう環境整備事業に対する助成を行った。  ○地域子育て支援拠点事業 8,598 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) 1 か所 (田平 1) ○小学校低学年児童受入事業 2,400 千円 実施箇所数 6 園 (平戸 5、田平 1)	10,998
保育対策等促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、各種保育事業に対する助成を行った。  ○休日保育事業 1,409 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○病児・病後児保育事業 12,930 千円 実施箇所数 3 園 (平戸 2、田平 1) ○延長保育事業 56,893 千円 実施箇所数 14 園 (平戸 11、田平 3)	71,232
障害児保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	障害児の保育促進のため、保育に欠ける障害児の受け入れを行う保育所に対して助成を行った。  実施箇所数 8 園 (平戸 5、田平 2、生月 1)	8,880
子ども・児童手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	児童の福祉の増進を図るため、0歳から15歳までの子どもを養育する者に対し、子ども・児童手当を支給した。  子ども手当 児童手当 子どもが0～3歳未満の被用者 延べ 748 人 延べ 3,764 人 子どもが0～3歳未満の非被用者 延べ 454 人 延べ 2,052 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の被用者 延べ 3,046 人 延べ 13,609 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の非被用者 延べ 1,807 人 延べ 7,906 人 子どもが小学校終了後～中学校終了前 延べ 2,057 人 延べ 9,740 人 特例給付 延べ 318 人	520,785

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
4,360			6,638	仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担感を緩和することができた。  ○事業実施箇所数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援事業</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小学校低学年受入</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	地域子育て支援事業	1	1	2	小学校低学年受入	5	6	6				
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
地域子育て支援事業	1	1	2																	
小学校低学年受入	5	6	6																	
47,487			23,745	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応し、保護者が安心して就労や子育てができる環境づくりに寄与することができた。  ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日保育</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	休日保育	1	1	1	病児・病後児保育	3	3	3	延長保育	14	14	14
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
休日保育	1	1	1																	
病児・病後児保育	3	3	3																	
延長保育	14	14	14																	
			8,880	保育に欠ける障害児の保護者の子育ての負担感を緩和することができた。  ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害児保育</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	障害児保育	4	4	8								
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
障害児保育	4	4	8																	
441,555			79,230	次世代の社会を担う児童の健全な育成に寄与することができた。  ○受給者数 (平成 25 年 2 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが 0～3 歳未満の被用者</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>子どもが 0～3 歳未満の非被用者</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者</td> <td>886</td> </tr> <tr> <td>子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>子どもが小学校終了後～中学校終了前</td> <td>854</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,077</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	24 年度	子どもが 0～3 歳未満の被用者	327	子どもが 0～3 歳未満の非被用者	182	子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者	886	子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	515	子どもが小学校終了後～中学校終了前	854	合 計	2,077		
区 分	24 年度																			
子どもが 0～3 歳未満の被用者	327																			
子どもが 0～3 歳未満の非被用者	182																			
子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者	886																			
子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	515																			
子どもが小学校終了後～中学校終了前	854																			
合 計	2,077																			

事業名	事業内容	事業費
保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	保育に欠ける児童を保育する市内の民間保育所及び市外の保育所に対し、運営費を助成した。  民間保育所 30 か所 (市内 16 か所、市外 14 か所) 延べ在籍児童数 10,471 人	911,469
母子自立支援員 設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等に対し自立支援に必要な相談指導、求職活動に関する支援を行った。  母子自立支援員 1 名 相談件数 1,267 件	1,659
母子家庭自立支 援給付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子家庭の就業支援対策として、ホームヘルパー等の資格取得にかかる経費への支援及び、看護師等のさらに高度な資格取得のための訓練期間中に給付金を支給した。  母子家庭自立支援教育訓練給付金 1 人 高等技能訓練促進費 4 人 (看護師 1 人、准看護師 1 人、社会福祉士 2 人)	4,449
児童扶養手当給 付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	父母の離別などにより、ひとり親家庭等の生活安定と児童の福祉増進を図るため、児童扶養手当を支給した。  受給者数 内訳 全部支給者 延べ支給人数 2,284 人(うち父子 240 人) 一部支給者 延べ支給人数 1,860 人(うち父子 343 人) 第2子加算 延べ支給人数 1,862 人(うち父子 272 人) 第3子加算 延べ支給人数 620 人(うち父子 121 人)	162,859
ひとり親家庭等 日常生活支援事 業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	修学等自立の促進や社会的な事由等により、日常生活を営むのに支障を生じているひとり親家庭等に対して、生活支援員を派遣し、家事支援、子育て支援を行った。  生活支援 利用回数 4 回 利用人数 2 人	109

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
504,823		204,292	202,354	児童の心身の健全な発達と家庭における仕事と子育ての両立に寄与することができた。																				
423		7	1,229	ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図り、自立支援を行うことができた。																				
3,336			1,113	母子家庭の母が、自主的に就業能力を習得することにより、就職や経済的な自立への促進につながった。  ○利用者数の推移 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育訓練給付金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高等技能訓練促進費</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	教育訓練給付金	1	1	1	高等技能訓練促進費	0	3	4								
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																					
教育訓練給付金	1	1	1																					
高等技能訓練促進費	0	3	4																					
53,898			108,961	母子家庭等における家庭生活の安定と経済的な自立への促進につながった。  ○受給者数の推移 (各年度 11 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部支給者</td> <td>195(20)</td> <td>194(18)</td> <td>181(21)</td> </tr> <tr> <td>一部支給者</td> <td>158(30)</td> <td>158(30)</td> <td>156(28)</td> </tr> <tr> <td>全部停止者</td> <td>29(5)</td> <td>31(8)</td> <td>27(7)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>382(55)</td> <td>383(56)</td> <td>364(56)</td> </tr> </tbody> </table> ( ) は父子家庭数	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	全部支給者	195(20)	194(18)	181(21)	一部支給者	158(30)	158(30)	156(28)	全部停止者	29(5)	31(8)	27(7)	合 計	382(55)	383(56)	364(56)
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																					
全部支給者	195(20)	194(18)	181(21)																					
一部支給者	158(30)	158(30)	156(28)																					
全部停止者	29(5)	31(8)	27(7)																					
合 計	382(55)	383(56)	364(56)																					
82			27	ひとり親家庭等の福祉の増進に資することができた。																				

事業名	事業内容	事業費																																			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																
へき地保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	<p>保育に欠ける児童のため、へき地における保育を要する児童に対して、平戸市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、必要な保育を行った。</p> <p>(平成 25 年 3 月 1 日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>定員</th> <th>入所児童数</th> <th>延べ利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>50 人</td> <td>20 人</td> <td>331 人</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>35 人</td> <td>11 人</td> <td>235 人</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>40 人</td> <td>3 人</td> <td>70 人</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>20 人</td> <td>6 人</td> <td>118 人</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>15 人</td> <td>308 人</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>19 人</td> <td>361 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>205 人</td> <td>74 人</td> <td>1,423 人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数	度島町へき地保育所	50 人	20 人	331 人	根獅子町へき地保育所	35 人	11 人	235 人	木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	70 人	早福町へき地保育所	20 人	6 人	118 人	志々伎町へき地保育所	30 人	15 人	308 人	野子町へき地保育所	30 人	19 人	361 人	合 計	205 人	74 人	1,423 人	49,746			
区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数																																		
度島町へき地保育所	50 人	20 人	331 人																																		
根獅子町へき地保育所	35 人	11 人	235 人																																		
木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	70 人																																		
早福町へき地保育所	20 人	6 人	118 人																																		
志々伎町へき地保育所	30 人	15 人	308 人																																		
野子町へき地保育所	30 人	19 人	361 人																																		
合 計	205 人	74 人	1,423 人																																		
地域子育て支援拠点施設整備事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	<p>新たな拠点を田平地区に設置するにあたり、田平保健センターの一室を子育て親子が利用しやすいように改修し、環境を整備した。</p> <p>○修繕料 195 千円 ○工事請負費 1,712 千円</p>	1,907																																			
児童館耐震改修事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	<p>耐震化工事を行い、利用者の安全・安心な環境を整備した。</p> <p>実施箇所数 1 館 (山田児童館 耐震補強)</p>	11,029																																			
生活保護事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	<p>生活保護法に基づき、被保護者に対し、最低生活を保障するとともにその自立を支援した。</p> <p>○平成 25 年 3 月末現在 被保護世帯数 309 世帯 被保護人員 397 人 生活扶助 161,443 千円 住宅扶助 16,009 千円 教育扶助 1,118 千円 医療扶助 416,118 千円 介護扶助 17,181 千円 生業扶助 902 千円 葬祭扶助 123 千円 施設事務費 2,170 千円</p>	615,064																																			

財 源 内 訳				事業の成果																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
8,000	30,200		11,546	<p>交通条件及び自然的諸条件に恵まれない山間地、離島等において、へき地保育所を運営することにより、へき地における児童福祉の向上に寄与した。</p> <p>○入所児童数の推移 (各年度 3 月 1 日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	度島町へき地保育所	24	20	20	根獅子町へき地保育所	16	15	11	木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	3	早福町へき地保育所	2	5	6	志々伎町へき地保育所	8	12	15	野子町へき地保育所	18	15	19	合 計	73	72	74
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																																	
度島町へき地保育所	24	20	20																																	
根獅子町へき地保育所	16	15	11																																	
木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	3																																	
早福町へき地保育所	2	5	6																																	
志々伎町へき地保育所	8	12	15																																	
野子町へき地保育所	18	15	19																																	
合 計	73	72	74																																	
855			1,052	田平地区の子育て家庭を中心に、子育ての負担感を緩和することができた。																																
6,908			4,121	利用者の安全・安心な子育て環境の確保及び児童の健全育成に寄与することができた。																																
472,018		1,168	141,878	生活困窮者に対し、必要な保護を実施することにより、自立助長を促すことができた。																																